

記入例 2

【様式2】

学生支援緊急給付金を受けるための要件に係る誓約書

私は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する学生支援緊急給付金に申請する（留学生は①～⑤及び⑥の申請要件について確認する項目を確認する）

なるべく預貯金通帳の写し（仕送り金額記載箇所）を添付

自宅外：賃貸契約書（電気又は水道代の請求書でも可）のコピー添付
自宅：申請書「3.申し送り事項」に記入

	チェック欄(レ)	金額(年額)
①家庭から多額の仕送りを受けていない ※1年生は家庭からの仕送り予定額、2年生以上は2019年度の仕送り年額を記載すること	✓	50万円
②自宅外で生活している又は自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない	✓	
③生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高い。 ※1年生はアルバイトでの収入予定額、2年生以上は2019年度のアルバイト収入額を記載すること	✓	50万円
④家庭(両親)の収入減少(追加的支援が期待できない)が大きい場合、申請書「3.申し送り事項」に記入	✓	
⑤コロナ感染症の影響でアルバイト収入(雇用調整助成金による休業補償を含む。)が大幅に減少(前月比50%以上)している	✓	
⑥既存制度について 1) 高等教育の修学支援新制度(以下「新制度」)の第Ⅰ区分の受給者 2) 新制度の第Ⅱ又は第Ⅲ区分の受給者であって、第一種奨学金の併給が予定している者 3) 新制度の第Ⅱ又は第Ⅲ区分の受給者であって、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者 4) 新制度の対象外であって、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者 5) 要件を満たさないため新制度又は第一種奨学金を利用できないが、民間等を含め申請が可能な支援制度の利用を予定している者	✓	
⑦留学生等(日本語学校の生徒を含む)については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済的に困難な状況に陥り、以下に示す要件を満たすことが必要 1) 学業成績が優等以上であること 2) 1か月の出席率が8割以上であること 3) 仕送りが平均月額90,000円以下であること(入学料・授業料等は含まない。) 4) 在日している扶養者の年収が500万円未満であること		

公的支援の受給証明書を添付
提出できない場合、申請書「3.申し送り事項」に記入

アルバイト先からの給与明細(減額前、減額後)を添付
添付できない場合、申請書「3.申し送り事項」に記入

該当するものに✓
高等教育の修学支援申請度の第Ⅰ区分受給者以外で、住民税非課税世帯の場合、家計支持者の令和元年度分の住民税非課税証明書を添付

「民間等を含め申請が可能な支援制度の利用を予定している者」に該当する場合は、利用を予定している申請書の写し等を添付

上記の内容に相違ないことを誓約し、申請内容に虚偽があった場合は返金することに同意します。

令和 2 年 7 月 日

学校名 広島工業大学

学部/研究科名 〇〇学部

学籍番号 〇〇〇〇

署名: 工大 太郎